

決算報告

令和2年度の町の決算が9月の定例議会に提出され、一般会計、特別会計それぞれ認定されました。昨年度の歳出は、一般会計約59億円、特別会計約26億円、水道事業会計約4億円（収益的支出と資本的支出の計）となり、総額約89億円で様々なまちづくりが進められました。

一般会計歳入

歳入決算総額は62億1,030万円で、前年度と比べて16億6,447万円、36.6%の増加となりました。

増加となった主な要因は、特別定額給付金の給付をはじめ、新型コロナウイルス感染症対策として実施した各種事業に係る国庫補助金などの収入が大幅に増加したことによるものです。

町税は、13億3,341万円で、前年度と比べて871万円、0.6%の減少となりました。町民税、固定資産税及び町たばこ税が減少したことによるものです。

地方交付税は、13億2,387万円で、前年度と比べて1億1,494万円、9.5%の増加となりました。

国庫支出金は、18億6,015万円で、前年度と比べて15億4,752万円、495.0%の増加となりました。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、特別定額給付金事業補助金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などの国庫補助金が増加したことによるものです。

町債は、臨時財政対策債のほか、越生駅西口総合案

内所の整備、地方税の減収補てん、令和元年台風第19号による災害復旧工事、防災行政無線デジタル化工事及び越生小学校のトイレ大規模改造工事などのための借入れを行い、4億7,134万円となりました。

一般会計歳出

歳出決算総額は、58億9,391万円で、前年度と比べて16億6,293万円、39.3%の増加となりました。

増加となった主な要因は、特別定額給付金の給付による総務費や、GIGAスクールタブレット端末購入事業による教育費などが大幅に増加したことによるものです。

なお、歳入総額62億1,030万円と歳出総額58億9,391万円の差額3億1,639万円は令和3年度へ繰り越しました。

目的別の主な事業

総務費 ○交通手段の確保などを目的にタクシー・バス利用券を交付する地域交通対策事業を行いました。

新型コロナウイルス緊急経済対策として、住民1人につき10万円の特別定額給付金を支給しました。

新たに地域おこし協力隊を委嘱し、町外の人材の地域協力活動とその定住・定着を図りました。

越生町長選挙及び越生町議会議員補欠選挙を実施しました。

民生費 ○国の特別定額給付金の対象とならなかった新生児に対し、特別定額給付金と同額の10万円を支給しました。

衛生費 ○自然豊かな花木墓苑を基本とした町営樹木葬墓苑「五大尊花木墓苑」を運営・管理しました。

農林水産業費 ○農業水利

施設の長寿命化・耐震化対策事業及びため池の管理体制強化のため、農薬用ため池のハザードマップを作成しました。

商工費 ○武蔵越生七福神めぐりや月例ハイキングは、開催方法を変更して実施するとともに、町内のハイキングコースや案内板等の維持管理を行いました。

越生町商工会や協同組合 越生スタンプ会が実施する新型コロナウイルス感染症の影響を受けている町内小規模事業者を支援する取り組みに対して、補助金を交付しました。

土木費 ○町道1-7号線の道路改良工事など、生活環境の整備を行いました。

越生駅西口におもてなし拠点として越生駅西口総合案内所（道灌おもてなしプラザ）を設置しました。

教育費 ○学校給食費の保護者負担支援策として給

食費を11か月分補助しました。

越生町で誕生した室町時代の名将「太田道灌」像を駅前設置し、観光のコンテンツを充実させました。

今後も、安心元氣な越生町を創るために魅力あるまちづくりと住民福祉の向上のための施策を進めてまいります。

健全化判断比率等

令和2年度決算に基づき、財政健全化に関する比率を算出しましたのでお知らせします。

健全化判断比率および資金不足比率は、いずれの指標も早期（経営）健全化基準を下回り、健全性を示しています。しかし、他の指標である経常収支比率は92.8%で依然として高い数値にあり、財政の硬直化が懸念されます。

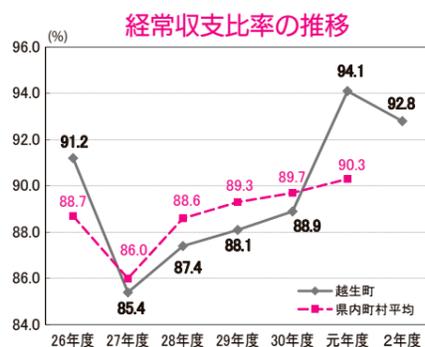
また、1,000に近いほど財政に余裕があることを示す財政力指数は、0.

健全化判断比率 (単位: %)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
越生町	-	-	4.1	20.4
早期健全化基準	15.0	20.0	25.0	350.0

資金不足比率 (単位: %)

特別会計名称	資金不足比率	特別会計名称	資金不足比率
農業集落排水事業特別会計	-	水道事業会計	-
経営健全化基準	20.0	経営健全化基準	20.0



527と低水準にあり、厳しい財政状況が続いています。

	歳入	歳出	差引額
総額	93億2,573万円	89億3,821万円	3億8,752万円
一般会計	62億1,030万円	58億9,391万円	3億1,639万円
特別会計	27億8,334万円	26億4,451万円	1億3,883万円
公平委員会特別会計	23万円	17万円	6万円
農業集落排水事業特別会計	2,881万円	2,718万円	163万円
国民健康保険特別会計	14億5,406万円	14億2,153万円	3,253万円
介護保険事業特別会計	11億3,847万円	10億3,608万円	1億239万円
後期高齢者医療特別会計	1億6,177万円	1億5,955万円	222万円
水道事業会計	収益的収支	3億1,757万円	2億8,515万円
	資本的収支	1,452万円	1億1,464万円
			▲1億12万円

水道事業会計の資本的収入額が1億12万円は、過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

会計別決算

